

こどもホタレンジャー2018

活動レポート

奨励賞

① 団体名 (学校、企業、NGO/NPO など)	よみがな ひろやすにししょうがっこう かんきょういいんかい 広安西小学校 環境委員会
③ 活動名 (タイトル)	よみがな ひろにしわきみずさいせいぶろじえくと 広西湧き水再生プロジェクト～環境×防災×生き物を考えた湧き水の取組～
④ 活動場所 (様子や環境など)	熊本県益城町
⑤ 活動したこどもの人数・学年	(例：小学○年生 ○人、 中学○年生 ○人) 小学5年生 8名 小学6年生 8名
⑥ 活動継続年数	2013年 月 日 ～ 継続中 上記の期間に 回実施した。

⑦ 活動グループ (学校・企業・NGO/NPO など) の紹介 (400 字程度以内で簡潔に)

本校は熊本市と隣接した学校区内にある。児童、職員を合わせると800名を超える比較的規模の大きな学校である。学校区には熊本産業展示場「グランメッセ熊本」や九州自動車道「益城熊本空港 IC」があり、熊本市のベッドタウンとして新興住宅地も増えている。平成28年熊本地震では、国内初の同一地域による2度の震度7を経験している学校区であり、学校区内も甚大な被害を受けた。今なお、仮設住宅やみなし仮設住宅から通学している児童もいる。学校区はとても住みやすく、学校区の南側には阿蘇からの湧き水も出ており、たくさんのよさがある。本校の環境委員会は、この学校区内にある湧き水のよさを調べ続けている。熊本地震で出なくなった湧き水もあるが、湧き水から防災について考え、地震前や昔のようにたくさんの生き物が住める湧き水になるよう行動しているグループである。今後も活動を続けていきたいと考えている。

⑧ 活動の概要 (600 字程度以内で簡潔に)

熊本市や熊本市周辺地域の生活基盤である水を育んでいる阿蘇地域だが、平成24年九州北部豪雨により甚大な被害を受けた。学校区で出ている阿蘇からの湧き水を守りたい、また熊本の環境を守りたいと思う当時の環境委員会児童の思いから始まったのが活動のきっかけである。最初は実際に阿蘇に行き、阿蘇の湧き水について現地の人にインタビューをしたり、阿蘇だけでなく、水俣市や八代市、菊池市など多くの場所に足を運び、水や農作物などについての調べ学習や清掃活動を行ったりしてきた。このような学びを、学校区に出ている湧き水に生かそうと、湧き水周辺清掃活動を中心に、誰もが日常生活で湧き水と触れ合えるような活動を考えてきた。しかし、平成28年熊本地震が発生した。調べていた湧き水も数か所で出なくなってしまい、しばらくはこの湧き水活動ができないと諦めかけてしまった。ただ、出ている場所もあり、まずはそこから調べていこうと、再び清掃活動や水質調査を始めた。今年は災害に強い益城町や本学校区にしていこうために私たちができることを考え、湧き水と熊本地震の関係、そして地震前や昔のようにたくさんの自然や生き物に囲まれた湧き水の場所にするためのプロジェクトとして進めている。

※この用紙には、活動したこどもたちの先生や団体の代表（おとな）が記入してください。

※受賞団体の活動報告書等は、環境省のホームページへの掲載等、広報活動に活用させていただきます。

⑨ 活動の目標を記入してください。(300 字程度以内で簡潔に)

本校の環境教育は、「生活そのものが環境活動」という視点で取り組んでいる。学校区内でも湧き水が出ているが、多くの方が「きれいな湧き水がある」までの考えにとどまり、生活の中にもっと湧き水を生かしたいと考えた。そこで、「未来へ学校区の湧き水を残し、未来でも湧き水を生活に生かそう」と活動を進めている。みんなが親しめる自然豊かな湧き水の場所になるよう、湧き水周辺の清掃活動や湧き水周辺の生き物調査を進めている。

⑩ 活動の内容や調べたことを記入してください。写真やイラストなども添付してください。(2000 字程度以内で簡潔に)

1 熊本地震と湧き水の関係を調査

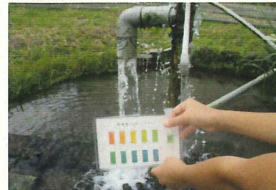
今年度は学校区内だけでなく、益城町全体の湧き水を見つめていこうと考えた。それは、学校区の中で特に被害が甚大だった地区に湧き水が出ているからであった。益城町で湧き水が出ている場所、そしてその地域には熊本地震でどのような影響があったのかという調査を益城町教育委員会の方、熊本の水に詳しい学校区にお住まいの方と共に調査することにした。



(教育委員会の方と調査)



(ここにカニがいた)



(水質調査)



(教育委員会の方と地域の方と調査)



(生き物発見!!)



(この軽石が湧き水を作る大事な石)



(地域の人は湧き水と共に生活している)



(分かってきたこと)

(地震の爪痕が残る中湧き水は出続けている) →

調査を進めているうちに、熊本地震を引き起こした断層の近くに湧き水が多くあることに気づいた。また、阿蘇からの水が地震を引き起こした断層によって水が通りやすくなり、湧き水がでるようになったのではないかと考えた。

(まとめ)

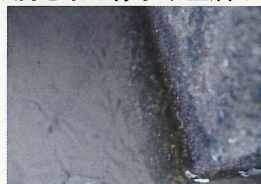
湧き水が出るということは人々が集まってくる。そして益城町ができたのではないかと、また、大きな地震があったが、地震を起こすきっかけとなる断層があったおかげで湧き水が出るのだらうと考えた。またいつ起こるかわからない地震に備える手立てとして、湧き水の場所を確認したり湧き水の水質を日ごろから調べたりして防災への意識を高めると同時に、地域の環境を日ごろから見つめる必要があるのではないかと考えている。もし何かあったとき、地域の環境が人々を助けてくれるかもしれない。地域の環境を大切にすることが、災害に負けない一つの方法ではないかと考えている。

2 広西湧き水再生プロジェクト

地域の環境を守るために私たちができることとして、自然豊かな生き物がいる湧き水にしていくことと考えた。そこで、学校区内にお住まいの方から昔の湧き水の様子や生活の中での湧き水の必要性を聞き、生き物調査を行った。



(生活の中での湧き水について聞く)



(ハヤを発見!!)



(まだ魚はいるかな)



(地域の方に田んぼと湧き水の関係を聞く)

(分かったこと)

○昔湧き水の近くにはかになどの生き物がたくさんいた

○湧き水で作ったコーヒーはおいしい

○田んぼを育てる大事な湧き水のことを「水神さん」

○製麺所では湧き水をくみ上げて麺を作っている

(まとめ)

これからは、さらにかになどの生き物が増えた自然豊かな湧き水の場所を増やしていくことを考えて活動していこうと考えている。

※活動した子どもたちの意見・考えを取りまとめて、先生や団体の代表が記入してください。

⑪ 活動で工夫したこと・気づいたことなどを記入してください。(800 字程度以内で簡潔に)

1 「広西湧き水見守り隊」での工夫

私たちは、熊本地震の前から日ごろ活動ができるときに湧き水の水質調査を行っている。きれいな水がいつも出続けているのかという目的で始めたが、熊本地震後からは少しずつその目的が変わってきた。今年は、「広西湧き水見守り隊」として活動が続けているが、熊本地震と湧き水の関係を考えてからは、いつでも「防災としての湧き水」として活躍できるよう、日ごろから水質調査を行うようになっている。



(見守り中に撮った湧き水の写真)

2 湧き水のよさを知ってもらうために工夫したこと

学校で生活している人に、少しでも湧き水のよさを知ってもらいたいと考え、私たちは夏休みに学校で打ち水をしたり花壇に水やりを行ったりした。

打ち水ではどのくらい冷たいのか私たち環境委員会が行った。とても冷たく、裸足でも気持ちがいいのが分かった。さらにとても綺麗で、湧き水のよさを改めて確認することができた。

花壇に水やりでは、私たち環境委員会が一年生と一緒に湧き水で水やりを行った。一年生の楽しそうに水やりをする姿をみることもできた。



(打ち水体験)



(一年生と花壇に水やり)

3 インタビューから環境活動を進めてきたこと

私たちは、地域の方や保護者の方に話を聞きながら活動を進めてきた。特に地域の方や保護者の方は「親しみやすい湧き水」を考えながら話をしてくれているように感じた。

そこで私たちは、自然豊かな生き物がいる湧き水の場所を目指そうと生き物調査をしている。地域の方からは、昔はかにはたくさんいたと聞いたが今はあまりいない。でも、魚のハヤを見つけたり、水質調査中も生き物を見つけたりした。もっとたくさん生き物を見つけたいと考えている。



(保護者の方へのインタビュー)

⑫ 活動からわかった課題、自分たち「こどもホタレンジャー」にできることを記入してください。

(800 字程度以内で簡潔に)

活動から見てきたことは、改めて地域で昔からあるものは未来へ残さないといけなということである。この益城町は昔から湧き水があるから人が集まってできた町と言えることが分かってきた。しかし、この益城町は熊本地震の原因となった断層の関わりも大きいとも考える。したがって、地震などの災害が起きた時こそ、湧き水が生きるための水になり、私たちの大きな力になるのではないかと考えている。

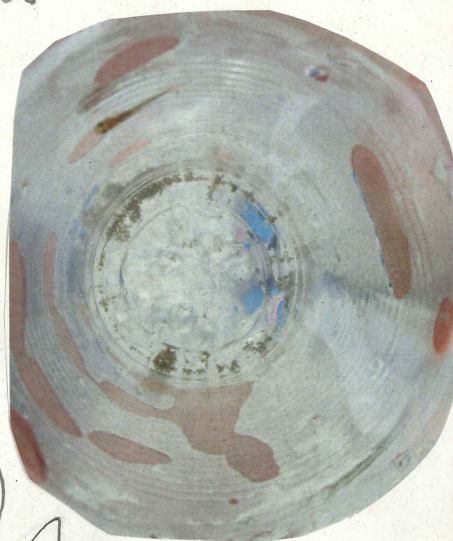
これからも、日ごろから湧き水を大切に続け、災害など何かあったときは、その大切な湧き水がどう生かされるか考えていくと同時に昔の風情があり生き物がたくさん住める湧き水に戻そうと考えている。そして湧き水を通して、地震と共存できる広安西の地域や益城町を作ることができればと考えている。

※活動したこどもたちの意見・考えを取りまとめて、先生や団体の代表が記入してください。

⑬ 活動して「気がついたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に記入してください。
写真や絵などでもOKです。

(例) ・活動を始めたきっかけ ・どんなことに興味を持ったか ・やってみようと思ったこと
・感じたことやおもしろかったこと ・大人と一緒に改善していきたいこと など

私たち環境委員会は、湧き水が未来へ残るように活動できる
ときに水質検査や湧き水周辺の清掃活動を行っています。熊本地震が
あってからは、地震のえいしょうで、湧き水が出なくなった
ところもありますが出ている場所でも引き続き水質検査や清掃
活動を行っています。今年は益城町の湧き水を調べながら
熊本地震と湧き水の関係をみていきました。



×ダカがいた。きれいな水のしょうた。

地震後も湧き水はきれいである私たちは、さらにきれいな水である
ためには、地震前や昔のように自然豊かで生き物がたくさん
いる湧き水を目指して活動しています。



ハヤがいた

※活動した子どもたちが記入してください。

これからさらに
生き物がふえる
湧き水であるように
清掃活動や水質検査
を行い未来に湧き水のこつしてほしい
と思っています。

わき水が出てい
る所にごみ発見

エビやヤガリた。

めだかがいた